

前項に示せる連接銅線は十四ヶ所に於て取付金物にて之れを支持す可し
五仕上げ 瓦斯管柱及び取付金物は完全なる銷落しを爲したる後監督員の指定せる塗工を爲す可し

十 雜事

- 一、材料置場 材料置場に要する一切の費用は受負人の負擔たる可し
- 二、跡片付 工事落成後に於ては完全なる跡片付を爲す可し

以上

拔萃

土木

○印度の鐵道 千九百十二年より既往十年間に英領印度にて開業せる鐵道延長は左の如し

年	哩	年	哩
一九〇三	二六、九五六	一九〇八	三〇、五七六
一九〇四	二七、五六五	一九〇九	三一、四九〇
一九〇五	二八、二九五	一九一〇	三二、〇九九
一九〇六	二九、〇九七	一九一一	三二、八三九
一九〇七	三〇、〇一〇	一九一二	三三、四八四

千九百〇三年の總哩程中各軌間の割合は標準軌間(五呎半)一四、四七七哩、メートル軌間(三十九吋半)

抜萃

抜 萃

一、四二一哩、特別軌間(二呎及び二呎六吋)二、〇五八哩なり、而して千九百十二年の同割合は標準軌間一七、一八九哩、メートル軌間一四、一六五哩、特別軌間二、一三〇哩なりとす、故に軌間統一は何等の進歩を見ず、反て錯雜を増せしか如し。又印度鐵道に要せし資本額の各年末の現況左表の如し。

年	資本(磅)	年	資本(磅)
一九〇三	二二七、四一〇、〇〇〇	一九〇八	二七四、六一一、〇〇〇
一九〇四	二三一、九四一、〇〇〇	一九〇九	八六、五五五、〇〇〇
一九〇五	二三九、〇一二、〇〇〇	一九一〇	二九二、六九八、〇〇〇
一九〇六	二四七、五一四、〇〇〇	一九一一	三〇〇、〇四五、〇〇〇
一九〇七	二六一、二四六、〇〇〇	一九一二	三一〇、一〇〇、〇〇〇

總收入は十年間に大なる増加を示したり、千九百〇三年に二四、〇九五、〇〇〇磅なりしか千九百十二年には四一、一〇〇、〇〇〇磅に上り、作業費は千九百〇三年に一一、四〇七、〇〇〇磅を要せしか千九百十二年には二〇、一〇六、〇〇〇磅となり、純益は千九百〇三年に一二、五八八、〇〇〇磅なりしか千九百十二年には二〇、九九四、〇〇〇磅となれり。収入料金に對する營業費の割合は千九百〇三年には四割七分五厘なりしか千九百十二年には四割八分九厘なりし、印度鐵道營業費の趨勢は地方使用人賃金の増加に基因し漸次増加の傾向なるも、其監督當を得て猶好況を保ち且つ他所に比ふれば寧ろ低率なりとす。又其資本金に對する配當率は千九百〇三年には五分五厘四毛なりしか千九百十二年には六分七厘七毛に達せり

(本年四月十六日發行エンヂニヤリングに據る た 生)

○隧道支保工の進行速度 隧道支保工の進行を急速ならしめん爲めベンシルバニア鐵道會社が目下工事中なるパフワローとピッツバーグ間アレガニー線のケンナデル隧道工事に新計畫を